



# 2018年12月期 第2四半期累計(上期)決算説明資料

2018年7月31日

(東証一部 証券コード:2174)



GCA

1

GCA 事業概要

## GCAの特徴

M&A及びCapital  
Marketsアドバイザー  
ビジネスに特化

バランスのとれた  
グローバル展開、  
拠点間のシナジーと  
フォーカスセクターの補完

グローバルカバレッジ  
全世界に18 拠点

### GCAについて

GCAは成長企業や業界のリーディングカンパニーに対して戦略的M&A、Capital Marketsアドバイザーサービスを提供するグローバルM&Aアドバイザーファームです

当社はアジア、米国、欧州に18拠点を展開、400名以上を擁しております

GCAは専門家集団として、コミットメント、独創的な視点、高度なスキル並びに広範囲なネットワークを必要とする案件にフォーカスしています

成長セクター  
(テクノロジー、デジタル  
メディア等)における  
グローバルプラクティス

インダストリアルセクター  
における  
豊富なクロスボーダー  
M&Aの実績

成約案件の  
1/3以上が  
クロスボーダー案件

過去3年間に  
350件以上の  
案件を成約

Non-GAAP純利益の  
100% 株主還元

### Our offices:

Frankfurt | Ho Chi Minh City | London | Manchester | Milan | Mumbai | Munich | Nagoya | New Delhi  
New York | Osaka | San Francisco | Shanghai | Singapore | Taipei | Tel Aviv | Tokyo | Zurich

## 2018年上期の総括

- **2018年上期業績:** 売上高は104億円、前年同期比53%の増収
- **M&A案件数:**
  - ・グループ全体で65件の完了、10件のペンディング(公表済みクロージング待ち)案件
  - ・テクノロジー、インダストリアル、コンシューマセクターの案件が多数
- **受注案件:** 引き続き新規受注・パイプライン共に好調、新規受注額は2017H1と比べて38%増、受注済パイプラインの残高も前年同時期と比べて約10%増
- **健全なバランスシート:** 自己資本比率は78%
- **2018年通期業績予想:** 通期予想に変更なし
- **株主還元:** Non-GAAPベースの純利益を100%株主還元。中間配当17.5円/株を配当
- **その他トピックス:**
  - ・Mergermarket Japan M&A Awardsにて「M&A Boutique Adviser of the Year 2018」を受賞
  - ・GCA台北オフィス、GCAホーチミンオフィス、GCA名古屋オフィスの本格稼働

## 2018年上期 各リージョンのディールトレンド

全リージョンで成長: 米国ではテクノロジーイノベーションによる革新的なディールを牽引、アジアでは引き続きアウトバウンド(海外買収)案件が活発、欧州では堅調な安定成長とIPOアドバイザー案件が好調

### 米国

- テクノロジーイノベーションによる革新的なディール、伝統的セクターの変革を促すディールを牽引
- 特にデジタルメディア、フィンテック、ソフトウェア、テクノロジーサービス分野の案件をアドバイス

### アジア

- アウトバウンド案件が引き続き活発、クロスボーダー案件はアジア全体の2/3を占めた(件数ベース)
- セクター別では比較的バランスのとれたカバレッジを保ちながら、インダストリアルセクターを中心に、コンシューマ、テクノロジー、デジタルメディアなどの案件をアドバイス

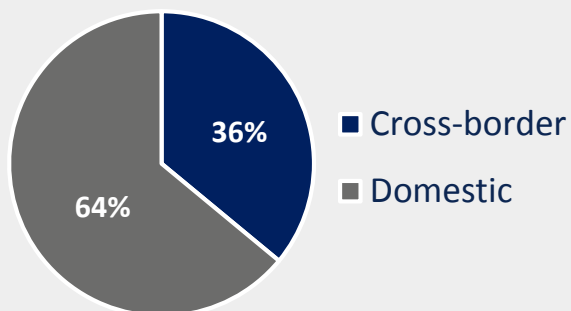
### 欧州

- 昨年の好調に続き、業績・件数ともに堅調に推移
- 上期は大型IPOアドバイザー案件を成約
- テクノロジー、インダストリアル、コンシューマ案件をアドバイス

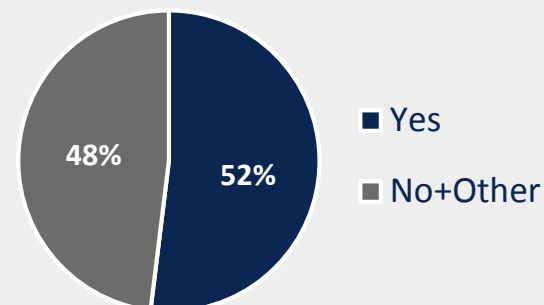
# 2018年上期の成果

## バランスの取れた案件ミックス(クロスボーダー、PE関連、取引タイプ、セクター別内訳)

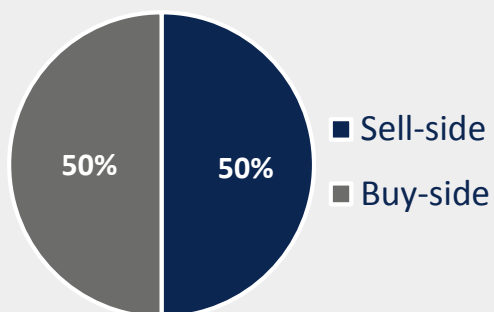
### 国内 vs クロスボーダー



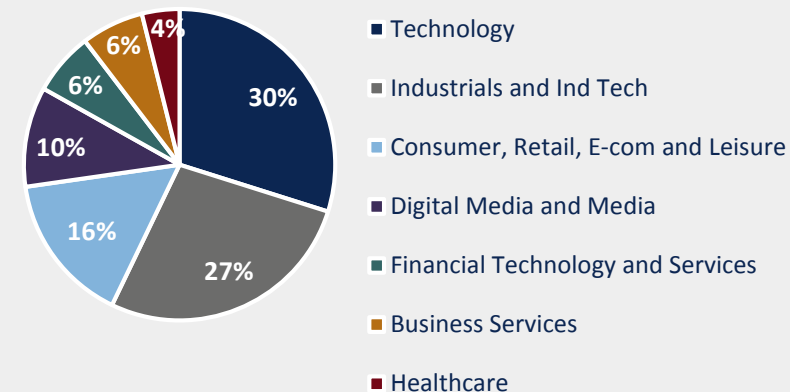
### PE(プライベートエクイティ)関連案件



### バイサイド vs セルサイド



### セクター



## 2018 第2四半期の代表的な案件

- 2018 第2四半期はグループ全体で35案件を完了、2018年上期累計で65件完了
- 10件のペンディング(公表済みクロージング予定)案件(6月末現在)
- セクター別では、テクノロジー、インダストリアル、コンシューマ、小売/Eコマース案件が多数
- クロスボーダー案件39%
- PE関連案件52%
- セルサイド53%



Grapeshot LimitedのOracleへの売却



ECMによるMEDIFOXのHgへの売却

ペンディング



ロングリーチグループによるサイバードのエアリアへの売却



RPX CorporationのHGGCへの売却



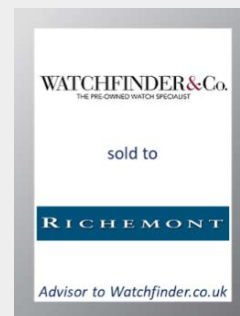
住友重機械工業によるLafert S.p.A.の買収



Travel CounsellorsのVitruvianによる(Equistoneからの)買収



椿本チエインによるCentral Conveyor Company, LLCの買収



Watchfinder.co.ukのRichemontへの売却



PrincipalによるRobustWealthの買収

ペンディング(7/2完了)

## 直近のクロスボーダー案件

### 2018年度上期にクローズまたは2018年にクローズ予定の主なクロスボーダー案件



住友重機械工業  
による  
伊 Lafert S.p.A.の  
買収

(日/伊)

クローズ

住友重機械工業は、欧州大手産業用電気モーターおよびドライバーの設計・製造会社 Lafert S.p.A. (伊)を買収

本買収は、住友重機械工業の産業用モーターおよび産業機械分野における拡大戦略のマイルストーン案件であり、最大級のクロスボーダー案件



Uzabase  
による  
米 Quartz Media  
の買収

(日/米)

ペンディング

ビジネス情報サービス企業ユーザベースは、米国のオンライン・クオリティ経済メディア Quartz Media LLCを買収

本買収により、Quartzの経済メディアの専門知識とグローバルリーチ、ユーザベースが展開するNewsPicksサービスのデータおよび有料コンテンツ配信ノウハウを組み合わせ、NewsPicksの米国および欧州市場への拡大を促進



HIL Limited (印)による  
Parador (独、NORD  
Holdingポートフォリオ  
会社)の買収

(印/独)

クローズ

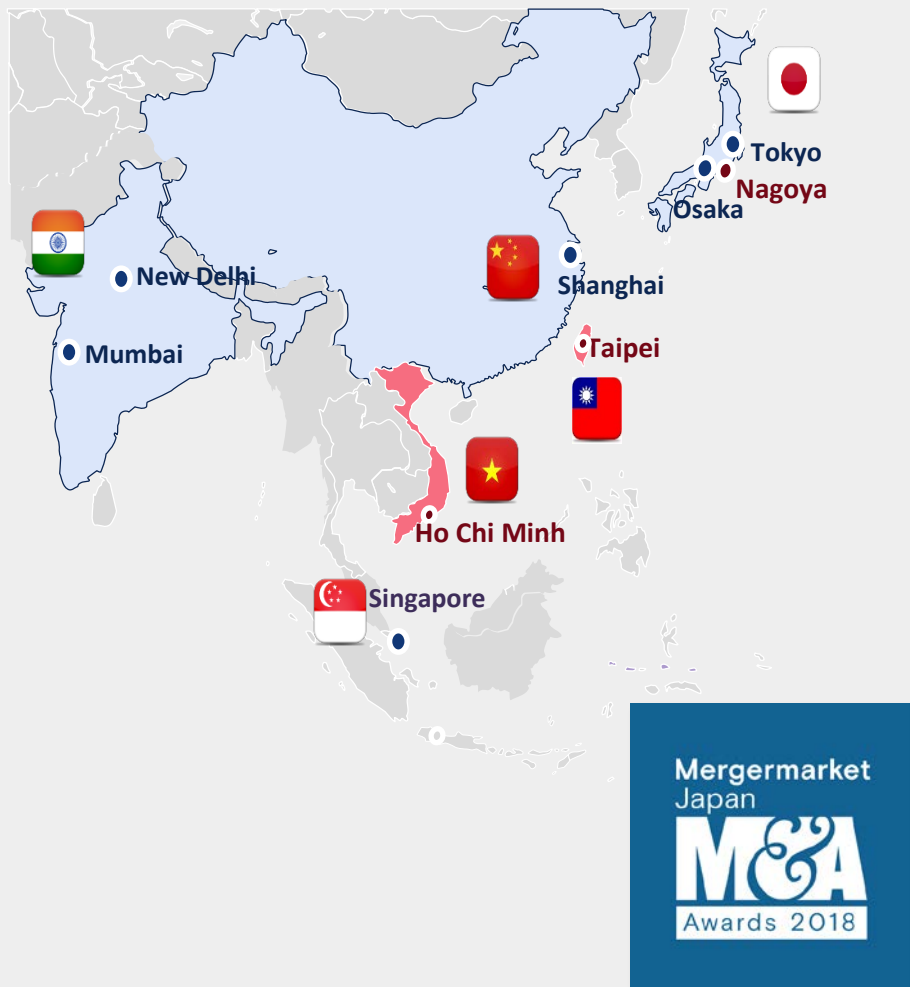
インド大手CK Birla Groupの一部である有力建築資材建設会社HILは、ドイツのフロアリングソリューションの総合サプライヤー Parador Holding GmbHを買収

本買収により、HILは建築材料分野におけるグローバルプレーヤーへ移行でき、強力なR&Dおよび設計能力を備えた有名なブランドを獲得



## 2018 H1 トピックス

アジア新拠点の本格稼働と日本での受賞



- GCA名古屋オフィスを開設、大手インダストリアルおよびテクノロジー企業を含む地元のクライアントにサービスを提供開始  
(2018年4月)
- GCA台北オフィスのヘッドとして新MDが就任  
(2018年4月)
- GCA台北オフィスとホーチミンオフィスが本格稼働、日米欧・アジア間の案件獲得機会が拡大  
(2018年5月)
- Mergermarket Japan M&A Awards にて「M&A Boutique Adviser of the Year 2018」を受賞  
(2018年6月)



# 2

2018年12月期 第2四半期累計(上期)業績

## 2018年上期の業績(セグメント別売上)

Non-GAAP	実績		(mm yen)	
	FY2017 H1	FY2018 H1	change	%
売上高				
アドバイザリー	6,493	10,125	3,632	56.0%
アセットマネジメント	328	302	(26)	(7.9)%
売上高合計	6,821	10,427	3,606	52.9%
人件費	4,577	7,029	2,452	53.6%
賃料	596	642	46	7.7%
その他	1,518	1,517	(1)	(0.1)%
費用合計	6,691	9,188	2,497	37.3%
営業利益	130	1,239	1,109	853.1%
(1.9%)		11.9%		
純利益	(39)	864	903	n.a.
(0.6%)		8.3%		

# バランスシート

## 自己資本比率は78%と高水準を維持

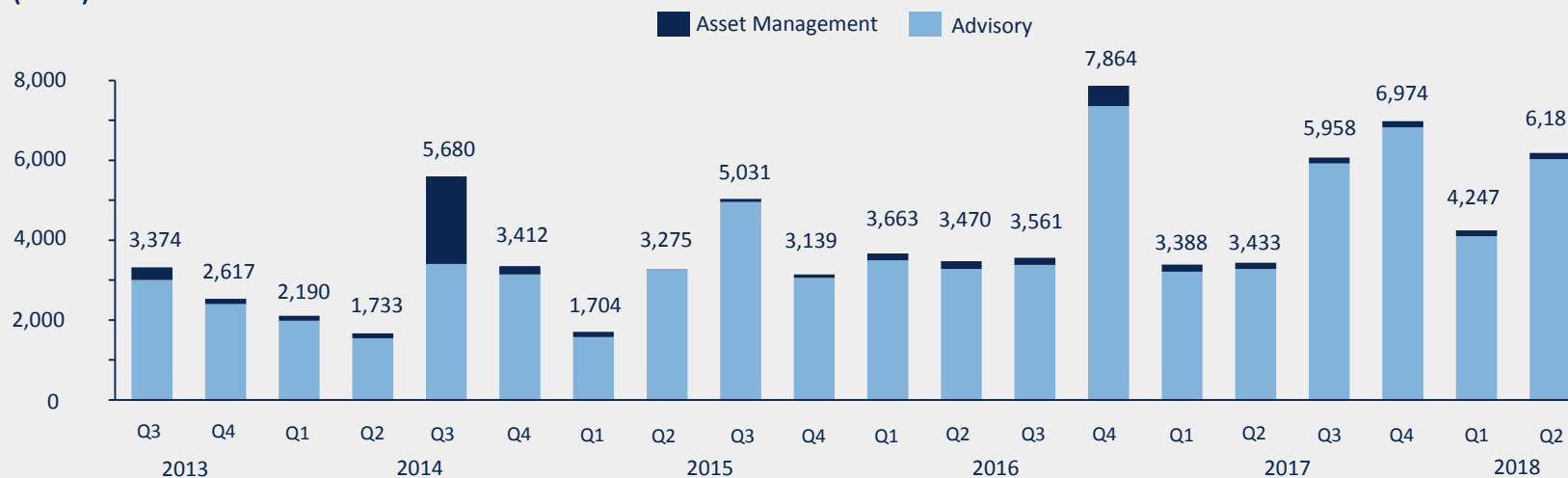
(mm yen)

科目	2017/6	2017/12	2018/6
現預金等	6,776	12,819	8,665
売掛金	1,526	1,616	2,673
営業投資有価証券	119	143	257
その他	1,613	1,287	1,086
<b>流動資産</b>	<b>10,034</b>	<b>15,866</b>	<b>12,682</b>
有形固定資産	1,293	1,253	1,270
投資有価証券	87	54	52
のれん	8,700	8,934	7,851
その他	1,193	1,277	1,635
<b>固定資産</b>	<b>11,275</b>	<b>11,520</b>	<b>10,808</b>
<b>資産合計</b>	<b>21,309</b>	<b>27,387</b>	<b>23,491</b>
未払法人税等	317	492	225
その他	2,931	7,692	5,054
<b>負債合計</b>	<b>3,249</b>	<b>8,185</b>	<b>5,279</b>
株主資本	17,401	17,568	17,164
自己株式	(795)	(795)	(795)
為替換算評価額等	1,455	2,428	1,843
<b>純資産合計</b>	<b>18,060</b>	<b>19,201</b>	<b>18,212</b>
<b>資産・負債合計</b>	<b>21,309</b>	<b>27,387</b>	<b>23,491</b>

- (1) 2017年6月30日の為替レート : ¥112.00 /US\$および¥145.82 /GBP  
 (2) 2017年12月31日の為替レート : ¥113.05 /US\$および¥152.02 /GBP  
 (3) 2018年6月30日の為替レート : ¥110.54 /US\$および¥144.55 /GBP

# 売上高の四半期推移

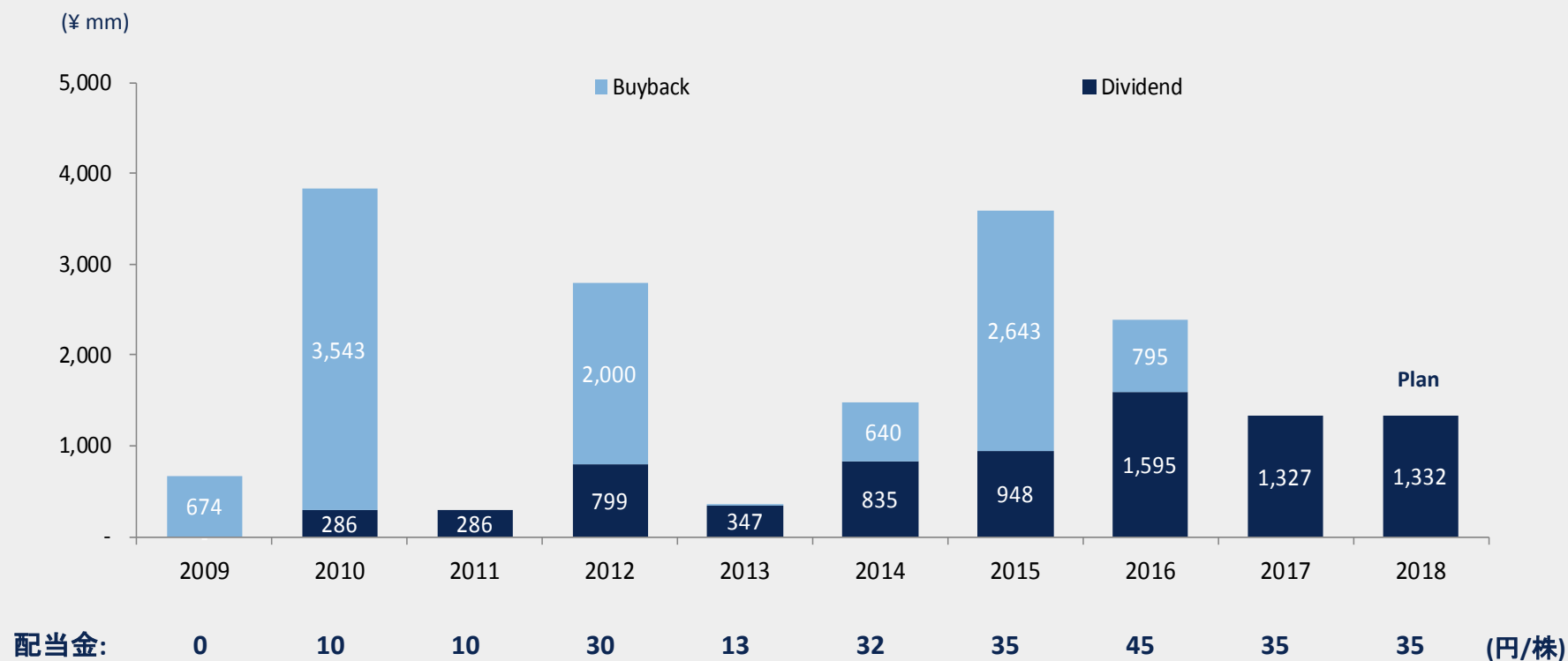
## 売上高 (¥ mm)



# 資本政策

過去10年間の総還元額は180億円、総還元性向は154%

直近の配当利回りは約4.0%\*





# 3

2018年の見通し

## 2018年の見通し (Non-GAAP)

2018年の見通し(5月11日発表)は変更なし

	2018 年見通し (2018年1月～12月)			
			(mm yen)	
	FY2017 実績	FY2018 見通し	Diff	%
<b>売上高</b>	19,754	21,000	1,246	6.3
<b>営業利益</b>	2,045	2,600	555	27.1
	10.4%	12.4%		
<b>純利益</b>	1,409	1,800	391	27.8
<b>EPS * (¥)</b>	37.21	47.41		





# 4

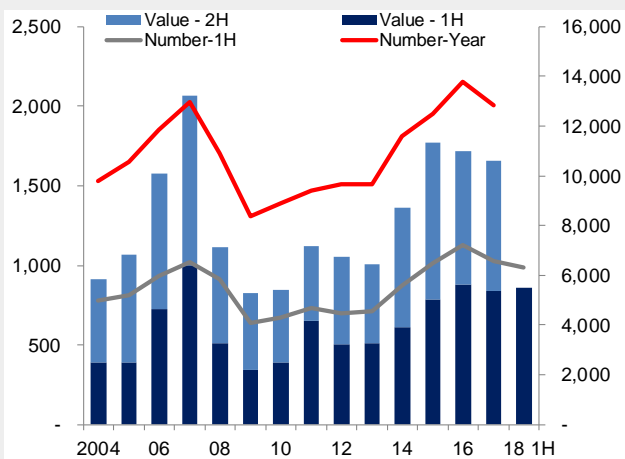
補足資料

# 2018H1 日米欧のM&A市場の推移(完了ベース)

## Japan

(Value: bn. yen)

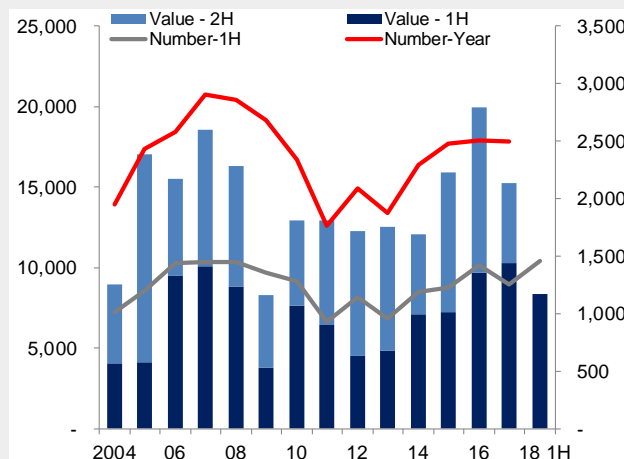
(Volume)



## US

(Value: bn. USD)

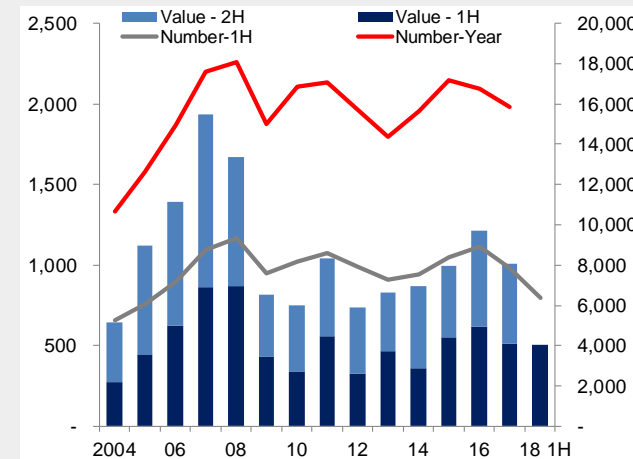
(Volume)



## EMEA

(Value: bn. USD)

(Volume)



## セグメント別売上高、成約件数およびバンカー数の推移(四半期ベース)

	2017				FY2017	2018				FY2018
	Q1	Q2	Q3	Q4	合計	Q1	Q2	Q3	Q4	合計
<b>売上高 (百万円)</b>										
アドバイザー	3,209	3,284	5,807	6,823	19,123	4,097	6,028			10,125
アセットマネジメント	179	150	150	154	632	150	152			303
<b>合計</b>	<b>3,388</b>	<b>3,433</b>	<b>5,957</b>	<b>6,976</b>	<b>19,754</b>	<b>4,247</b>	<b>6,181</b>			<b>10,427</b>
<b>成約件数</b>										
<b>合計</b>	<b>38</b>	<b>29</b>	<b>18</b>	<b>27</b>	<b>112</b>	<b>30</b>	<b>35</b>			<b>65</b>
<b>バンカー数</b>										
<b>合計</b>	<b>277</b>	<b>284</b>	<b>292</b>	<b>294</b>	<b>294</b>	<b>289</b>	<b>291</b>			<b>291</b>

## DISCLAIMER



本資料は、GCA株式会社の事業及び業界動向についてのGCA株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。GCA株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。本資料における将来の展望に関する表明は、本資料公表日現在において入手可能な情報に基づいて、GCA株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載を更新し変更するものではありません。また、掲載された情報の内容の正確性、有用性、また適切性等について、当社は一切保証するものではなく、本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがあります。